



2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月12日

上場会社名 株式会社やまみ 上場取引所 東
 コード番号 2820 URL https://www.yamami.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山名 清
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 辰男 (TEL)0848(86)3788
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第1四半期の業績 (2019年7月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	2,793	13.0	42	△72.5	50	△69.5	35	△68.1
2019年6月期第1四半期	2,471	1.7	153	△13.0	166	△5.3	111	0.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	5.13	5.11
2019年6月期第1四半期	17.28	17.25

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第1四半期	14,472	6,166	42.5
2019年6月期	12,805	6,199	48.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 6,146百万円 2019年6月期 6,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	14.00	—	10.00	24.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	6.6	311	△67.0	340	△65.2	694	1.4	100.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1Q	6,938,500株	2019年6月期	6,936,100株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	205株	2019年6月期	205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1Q	6,937,669株	2019年6月期1Q	6,455,138株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の緩やかな改善傾向が続き、景気は概ね堅調に推移しました。一方で、消費者マインドにも回復の兆しが見られるものの、消費税の増税等による先行き不安により、依然節約志向が強く、個人消費は伸び悩む状況が続いております。また、人件費の負担の増加や、米国と中国の政治動向や金融資本市場の情勢等にリスク懸念があり、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社が属します食品製造業におきましては、食の簡便化ニーズや健康志向の高まり等新たな需要の喚起もあり、個人消費が底堅く推移していることから販売は安定的な推移となりました。

このような状況のもと、当社は一般消費向け各種豆腐、厚揚げ、おからパウダー等を主力に、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも新商品として販売予定のカット4P豆腐を中心に、積極的な営業を展開し、販売に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高2,793百万円と前年同期と比べ321百万円(13.0%)の増収となりました。

利益につきましては、光熱費の増加や、運送コストの上昇に伴う荷造運賃の増加等の影響もあり、営業利益は42百万円と前年同期と比べ111百万円(72.5%)の減益、経常利益は50百万円と前年同期と比べ115百万円(69.5%)の減益、四半期純利益は35百万円と前年同期と比べて75百万円(68.1%)の減益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して1,667百万円増加し、14,472百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して137百万円減少し、1,858百万円となりました。これは主に現金及び預金が82百万円減少したことや、売掛金が88百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して1,805百万円増加し、12,613百万円となりました。これは富士山麓工場の新設等に伴い建設仮勘定が1,774百万円増加したこと等によるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における総負債は、前事業年度末と比較して1,700百万円増加し、8,305百万円となりました。

流動負債は、前事業年度と比較して1,269百万円増加し、4,001百万円となりました。これは主に短期借入金が900百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して430百万円増加し、4,304百万円となりました。これは主に長期借入金が431百万円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して33百万円減少し、6,166百万円となりました。これは主に配当金の支払いにより、利益剰余金が33百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2019年8月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

1. 業績予想の修正について

2020年6月期通期業績予想数値の修正(2019年7月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,500	631	660	699	100.78
今回修正予想 (B)	11,600	311	340	694	100.06
増減額 (B-A)	△900	△320	△320	△5	
増減率 (%)	△7.2	△50.7	△48.5	△0.7	
(ご参考) 前期実績 (2019年6月期)	10,881	941	976	684	100.44

2. 修正の理由

当社は、国内最大市場である関東地域への本格的な進出に向け、多くのお客様との商談を積極的に進めておりますが、関東地域での当社製品の本格導入が始まる時期は、当初想定 of 2019年秋から2020年春へと遅れております。また、利益率の高いおからパウダーの売上においても、同様に進捗が想定を下回っております。こうした予想売上高の減収見込みに加え、富士山麓工場の人件費や光熱費、運賃等の固定費負担から、前回の予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては富士山麓工場の助成金収入の増加により、ほぼ想定通りの見込みとなっております。

なお、配当金につきましては、2019年8月13日に公表した配当予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	299,295	217,281
売掛金	1,442,671	1,353,912
商品及び製品	39,253	40,613
原材料及び貯蔵品	198,157	230,060
その他	17,329	17,085
流動資産合計	1,996,706	1,858,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,557,904	2,555,868
機械装置及び運搬具(純額)	3,926,514	3,948,846
土地	2,115,391	2,126,946
建設仮勘定	2,119,921	3,894,847
その他(純額)	17,458	19,302
有形固定資産合計	10,737,189	12,545,812
無形固定資産	6,190	9,941
投資その他の資産	65,244	58,124
固定資産合計	10,808,624	12,613,878
資産合計	12,805,331	14,472,831
負債の部		
流動負債		
買掛金	629,520	787,929
短期借入金	300,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	692,661	794,040
未払金	690,165	936,789
未払法人税等	148,091	26,455
賞与引当金	8,540	34,160
その他	262,301	221,773
流動負債合計	2,731,280	4,001,148
固定負債		
長期借入金	3,758,213	4,189,265
繰延税金負債	109,849	109,817
その他	6,107	5,755
固定負債合計	3,874,169	4,304,837
負債合計	6,605,450	8,305,985

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,556	1,217,572
資本剰余金	1,188,556	1,190,572
利益剰余金	3,773,112	3,739,332
自己株式	△443	△443
株主資本合計	6,176,782	6,147,033
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△341	△413
評価・換算差額等合計	△341	△413
新株予約権	23,440	20,225
純資産合計	6,199,881	6,166,845
負債純資産合計	12,805,331	14,472,831

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,471,938	2,793,702
売上原価	1,839,493	2,187,171
売上総利益	632,444	606,530
販売費及び一般管理費		
荷造運賃	218,050	275,956
広告宣伝費	3,687	2,358
販売手数料	159,545	185,649
給料及び賞与	40,655	43,242
賞与引当金繰入額	3,270	3,330
減価償却費	1,214	881
その他	52,579	52,969
販売費及び一般管理費合計	479,003	564,388
営業利益	153,441	42,142
営業外収益		
受取利息	19	5
助成金収入	16,489	5,470
自動販売機収入	1,181	1,181
保険解約返戻金	—	6,317
その他	2,033	2,694
営業外収益合計	19,723	15,669
営業外費用		
支払利息	6,169	6,483
その他	368	482
営業外費用合計	6,538	6,966
経常利益	166,625	50,845
特別利益		
新株予約権戻入益	—	4,538
特別利益合計	—	4,538
特別損失		
固定資産除却損	119	—
特別損失合計	119	—
税引前四半期純利益	166,506	55,383
法人税等	54,932	19,805
四半期純利益	111,573	35,578

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。